

## ふれあい記録

実施日：平成 28 年 2 月 18 日

当番者名 相川 勲、根本 邦子

コース名：独自コース 34 番 「南房総・富山」 (通し番号 第 116 回)

天 候：曇りのち晴れ

参加者名：相川 勲、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、功力 満紀子、熊谷 信雄  
柴崎 幸治、西村 寿文、根本 邦子、細矢 清志、堀井 克子、宮原 さち子、宮原 宏  
至、山腰 策次郎、吉田 千代 (16 名)

ビジター：船橋 エイ子、林 洋 (2 名)

計 18 名 (内、男 11 名、女 7 名) (五十音順)

交通：<往き>集合 8：00 東京湾フェリー久里浜港待合室

久里浜港 8：20 出航～～金谷港着 9：00 浜金谷駅発 9：30====岩井駅 9：41 着  
<帰り>岩井駅 15：33 発====保田駅 15：40 着 (保田川沿いの頼朝桜見物) 16：41 発  
====浜金谷駅 16：45 着 金谷港 17：20 出航 ～～久里浜港 18：00 着 解散

コース：岩井駅横の公園・伏姫と八房の銅像前で体操後 10：00 発 ⇒福満寺・富山遊歩道入り  
口(10：25～10：30) ⇒4 合目(11：00～11：05) ⇒富山南峰(342m)(11：30～11：40)  
⇒富山北峰着(349.5m)11：50 着 (昼食) 12：45 発 ⇒伏姫籠穴(13：25～13：45) 富  
楽里とみやま道の駅 (買い物) (14：25～14：40) ⇒岩井駅 15：20 着 (コーヒータイ  
ム) 15：33 発⇒保田駅 15：40 着 (保田川沿いの頼朝桜見物) 保田駅 16：41 発

みどころ：富山は昔から海路や漁場を知るあて山だっただけに、三浦半島からも目立って見える  
双耳峰である。別称金比羅峰の富山北峰は十一州一覽台とも呼ばれるほど見晴らしが  
良い。房総の山は勿論のこと浦賀水道を行き交う船を眼下に、遠く伊豆大島や富士山  
も眺望出来る。また南総里見八犬伝のプロローグと終焉の舞台となった山でもあるの  
で随所に歴史か物語かと混同してしまうような幻想的な雰囲気味わえる。

自然観察：期待した水仙と菜の花は時期を過ぎたのかあまり見かけなかった。登山道はカシ、ス  
ダジイなど照葉樹林が続きツバキの花やアオキの赤い実、夏蜜柑の黄色が木々の緑と  
相俟って美しい。日だまりには可憐なスマイルが多く見られた。  
ここでも樹間から赤茶色の杉林がみえた。杉の雄花がたっぷりついていて風を待ち構  
えているかのようだった。

特記事項：富山北峰には皇太子と皇太子妃、愛子様のご散策の記念におしるしの梓と浜茄子と  
五葉つつじが植樹されていた。ご散策のためか登山道は過剰に整備されているように  
思える。聞くところによると皇太子は日本山岳会の会員で会員番号 1 万番とか。  
往きの船中で保田の頼朝桜祭りの話を聞いたので予定を変更して帰途保田川沿いの  
桜見物をしたがまだ樹は小さく花もそれほどではなくいまいちであった。  
寄り道をしたので予定の船より一時間遅れたがそのおかげで船上から素晴らしい落  
日を見ることが出来た。夕暮色に染まり浮かび上がった富士山の脇で最後に一瞬の輝  
きを見せて点となって沈んだ太陽に拍手が起きるほど圧巻であった。